

活動分野	緑のおもしろ講座		
タイトル	身近で実のできる植物あれこれ		
実施日時	平成28年11月6日(日) 10時~14時		
実施場所	千葉市 都市緑化植物園		
受講者	18名	F I C会員他スタッフ	5名

### 活動の内容

今年5月から地元千葉で森林インストラクターとして活動ができるようになったことと緑のおもしろ講座での講師デビューしたことを自己紹介しました。午前中の座学では花から実への変身、種の飛ぶ様子、ドングリの実の見分け方等の動画をご覧いただきました。

1. どのような植物に実、種ができるのか→基本的には被子植物。植物の分類の図で説明。
2. 実と種の違いは→膨らむ子房全体を実といい、子房の中の胚珠部分が種となる。
3. どの部分が変化して実になるか→子房の内・中・外果皮、胚皮。花托。
4. 実にはどのような種類があるか→でき方から単果、複合果、集合果。水分から液果、乾果。
5. 昆虫、鳥、動物との関わり。その散布方法→アオギリ、ユリノキ、トチノキの実を見せる。
6. 身近な野菜、果物と人間との関わり。その他身近になりつつある野菜、果物を紹介。



午前中の座学の様子



植物の分類から話をスタート

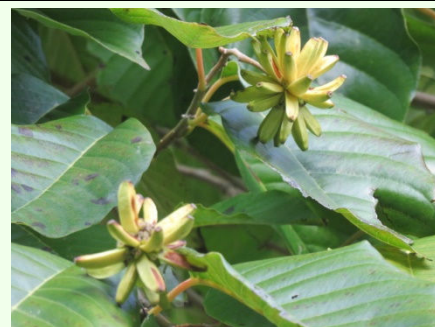
午後は、建物の前でアオギリ、ユリノキ、トウカエデの種飛ばしをした後に、植物園内を約1時間かけて回りました。ガマズミ(赤)、ウツギ、フジ(豆)、スタジイ(おいしい)、マテバシイ、カンレンボク(バナナ状)、ユリノキ、サラシナショウマ(花と種)、コマツナギ、センリョウ(赤)、ナンテン(赤)、トチノキ、スズカケノキ、センダン(未熟)が確認できました。自身の自己紹介で心が和んだことと、基本的な内容で忘れかけていたことを改めて思い出したとの出席者の感想をお聞きしました。



タネ飛ばし用種子を配布



スタジイの実を拾う



カンレンボクのバナナ状の種